

Ⅱ．博士後期課程

- 1．博士後期課程を修了するためには3年以上在学して正規の授業を受け、所定の授業科目について8単位以上を修得し、さらに博士の学位論文を提出し、かつ最終試験を受けなければならない。
- 2．学生は入学時に指導教授を選択し、授業科目の履修については指導教授の指導を受けなければならない。
在学中、特別の事由があるときは指導教授を変更することができる。ただし、その変更については研究科委員会の承認を必要とする。
- 3．単位の履修方法は次のとおりとする。
 - (1) 後期課程は、研究課題にそくした研究指導と学生自身の自発的な研究活動によってなりたっている。
 - (2) 履修8単位は、特殊研究4単位・演習4単位とする。
- 4．博士の学位論文の提出については次のとおりとする。
 - (1) 2年以上在学し、所定の授業科目を8単位以上履修したものは、指導教授と相談の上、博士の学位論文を提出することができる。
 - (2) 論文提出期限は、9月30日、3月31日の年2回とする。

博士後期課程授業科目の履修について

博士後期課程の学生は、下表左側の博士前期課程授業科目を履修することにより、右側の博士後期課程授業科目に読み替えられる。

なお、右側に博士後期課程授業科目が記載されていない博士前期課程授業科目については、履修しても修了に必要な単位には算入されない。

博士前期課程授業科目	単位	博士後期課程授業科目（読み替え後）	単位
共同基礎演習Ⅰ	2		
共同基礎演習Ⅱ	2		
基礎文献講読Ⅰ（日本語文献）	2	共同基礎演習 A	2
基礎文献講読Ⅱ（日本語文献）	2	共同基礎演習 A	2
基礎文献講読Ⅲ（英語文献）	2	共同基礎演習 A	2
行政とガバナンス	2	行政学演習	2
日本の統治構造	2	政治学演習	2
政治分析方法論	2	政治学特殊研究	2
日本政治研究	2	日本政治過程論演習	2
歴史政策論	2	日本政治外交史演習	2
公共政策論	2	公共政策論特殊研究	2
現代国際政治	2	国際政治特殊研究	2
国際政治経済論	2	国際政治演習	2
現代中国政治	2	中国政治演習	2
現代ヨーロッパ政治	2	ヨーロッパ政治史演習	2
現代東アジア政治	2	東アジア政治演習	2
公共思想史	2	西洋政治思想史演習	2
公共哲学研究	2	公共哲学演習	2
日本政治思想研究	2	日本政治思想史特殊研究	2
公共秩序の数理モデル	2	社会学演習	2
社会情報学	2	社会学特殊研究	2
政治行動論	2	社会心理学特殊研究	2
政治学研究科特殊研究	2		
政治学研究科演習	2		
統計分析Ⅰ	2	共同基礎演習 B	2
統計分析Ⅱ	2	共同基礎演習 B	2
政策課題研究	2		
政策評価演習	2		
実務研修	2		
政策実務演習	2		
研究指導Ⅰ	2		
研究指導Ⅱ	2		
研究指導Ⅲ	2		
研究指導Ⅳ	2		
政治学基本研究	2		